

事業場における産業保健活動の状況

中央労働災害防止協会が実施した産業保健活動の実態調査によると、次のとおりであった。

1 産業保健活動の実施状況

図 産業医の活動頻度

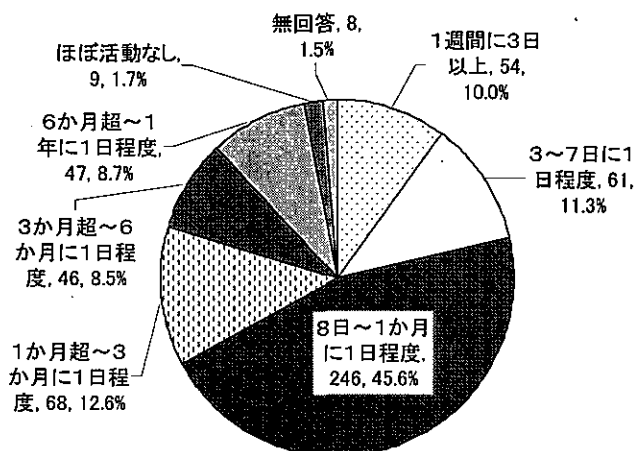
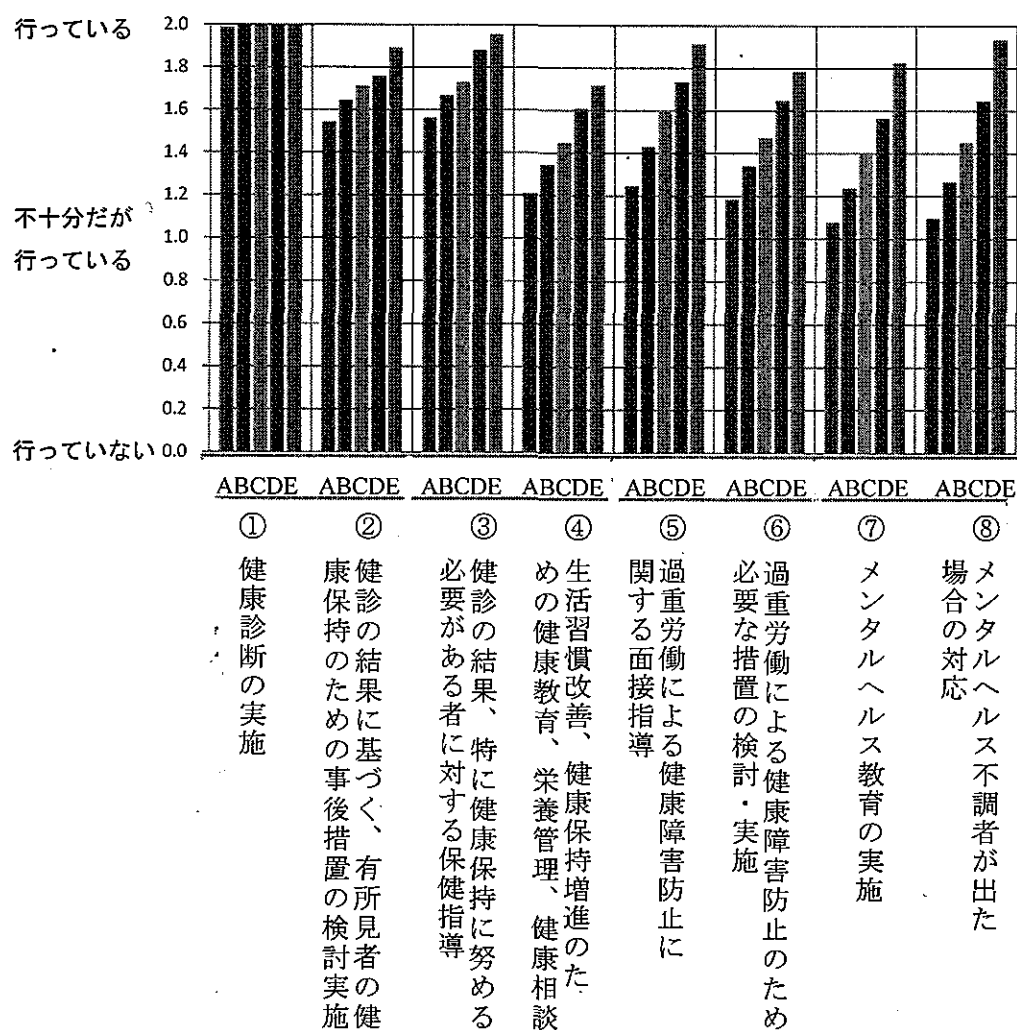


表 産業保健活動の実施状況 (N=707)

(回答者数/ %)

業務内容	2		1		0		無回答	
	行っている		不十分だが行っている		行っていない			
① 健康診断の実施	701	99.2	3	0.4	1	0.1	2	0.3
② 健診の結果に基づく、有所見者の健康保持のための就業上の措置(就業場所変更、作業転換、労働時間短縮、設備の改善等)の検討・実施	455	64.4	180	25.5	64	9.1	8	1.1
③ 健診の結果、特に健康保持に努める必要がある者に対する保健指導	457	64.6	191	27.0	54	7.6	5	0.7
④ 生活習慣改善、健康保持増進のための健康教育、栄養管理、健康相談(THP、特定保健指導)	294	41.6	268	37.9	135	19.1	10	1.4
⑤ 過重労働による健康障害防止に関する面接指導	358	50.6	165	23.3	170	24.0	14	2.0
⑥ 過重労働による健康障害防止のため必要な措置(就業場所変更、作業転換、労働時間短縮等)の検討・実施	306	43.3	224	31.7	160	22.6	17	2.4
⑦ メンタルヘルス教育の実施	259	36.6	244	34.5	194	27.4	10	1.4
⑧ メンタルヘルス不調者がした場合の対応(カウンセリング等を含む)	285	40.3	205	29.0	200	28.3	17	2.4

(2) 産業保健体制による産業保健活動の実施状況



各業務について「行っている」を2ポイント、「不十分だが行っている」を1ポイント、「行っていない」を0ポイントとして下のA～E群の平均ポイントを出すと、産業保健体制が充実しているほど産業保健活動が充実している。

- A 群 全事業場 (N=707)
- B 群 産業医がいる事業場 (N=539)
- C 群 産業医の活動頻度が1か月に1日程度以上の事業場 (N=361)
- D 群 保健師又は看護師がいる事業場 (N=210)
- E 群 常勤産業医、保健師又は看護師、心理相談員のいずれもいる事業場 (N=46)

出所：「事業場における産業保健活動の実態及び対応等に関する調査研究報告書」

H22年3月 中央労働災害防止協会) 賛助会員 707 事業場 (2000 事業場での回答率 35.4%) に対するアンケート結果